長和町の民話 イコール! みんなの民話？！

コンセプト

このゲームは長和町の民話をより身近に感じてもらうために考えたのが始まりです。長和町の民話はどれも面白いですが、普段関わることが少なくなってきていると感じました。そのため民話を知らなくても子供から大人まで楽しんでもらえるようなゲームにすれば、民話の面白さと存在を知ってもらえるのではないかとおもい制作しました。

使用した民話

お女郎池の由来

お女郎さんの恋人が罪を犯してしまい、ショックで身投げしてしまうお話。

かぎ引き石と河童の池

池に住む河童が幾度となく人間をからかい、池に引きずり落として殺してしまい馬に乗ったお侍さんに怒られたお話。

不聞どうろく神

耳の聞こえない少年がおじいさんに連れられ願いが叶うという、道祖神様にお願いをしに通ったところある時大きな雷が鳴り響き気を失ったが、目を覚ますと耳が聞こえるようになったお話。

清水坂の狐

魚獲りのおじいさんが魚を獲りに行ったその日は驚くほど魚が網にかかり、大量の魚を手に帰ろうとしたところ小雨が降っていて嫌な予感が的中し狐に魚を全部盗られてしまったお話。

小豆とぎの女

すぐじの橋の下でシクシクと泣く女の声と小豆を研ぐような音が聞こえてくるようになり、橋の下を確認しても何もいない事を村の人たちは気味悪がり、その事を使って行儀が悪い子供をこらしめるようになったお話。

ルールと説明

ゲーム①[個人]

1．イラストカードと言葉カードに分けます
（※この時カードをよく混ぜましょう）
2．イラストカードから１人３枚ずつ引きます
3．順番を決めてイラストカードの山札から 1 枚引き、いらないカードを１枚捨てます
（カードはそれぞれの民話ごとに色で分けられているので同じ色のカードを４枚揃えましょう）
4．４枚揃ったら言葉カードから１枚引きます
（言葉カードには終わりの言葉や繋ぎの言葉が書かれています）
5．自分が揃えたカードを全て使ってオリジナルの民話を作りましょう
6．民話ができたら発表していきます
7．最低２週するゲームですが、楽しくなってきたらもっとやってしまいましょう

ゲーム②[リレー]

1．イラストカードと言葉カードを混ぜます
（イラストカードと言葉カードは同じカードが複数枚あるので、各民話４枚ずつ＋SP カード３枚＋言葉カード８枚の計 31 枚だけを使用します）
2．最後のカードが言葉カードになるように祈りながら進めるのも良いですし、最初にジジ抜きのように言葉カードを１枚抜いておくのも良いでしょう
3．順番を決めて１枚ずつ引いていきます
4．引いた人から順に民話を作っていきます

みんなで楽しくゲームを進めることが一番大事なルールです。楽しんでください！

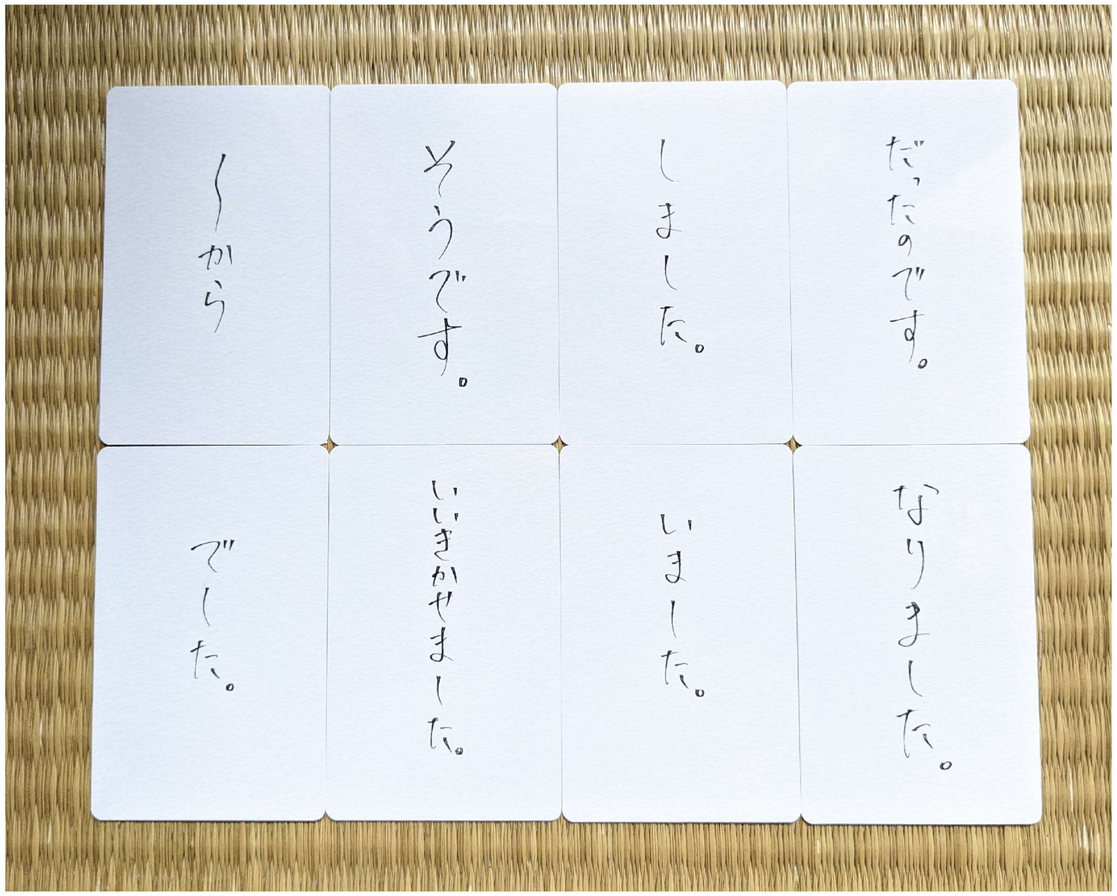
※１：ゲーム①の場合
イラストカードの中には 3 枚の SP カードが含まれています。これはどの民話にも登場しないものです。SP カードを引いた場合、その SP カードを含めた 5 枚のイラストカード＋言葉カードの計 6 枚で民話を作ります。
※２：白紙のカードについて
セット内容に白紙のカードがあります。カードを無くしてしまった場合の予備として使うのが本来ですが、オリジナルの SP カードを作ってこのゲームに風を吹かすのもありです。自由に楽しんでください。

セット内容

５つの民話各４枚ずつ × ３セット

SP カード３枚

言葉カード８種 10 枚

白紙カード３枚

説明書１枚